

教育目標と卒業生像

1. 教育目標

- 1) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解する能力を養う。
- 2) 対象を中心とした看護を提供するために、看護師としての人間関係を形成するコミュニケーション能力を養う。
- 3) 看護師としての責務を自覚し、対象の立場に立った倫理に基づく看護を実践する基礎的能力を養う。
- 4) 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養う。
- 5) 健康の維持・増進、疾病の予防及び健康の回復に関わる看護を、健康の状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
- 6) 保健・医療・福祉のシステムにおける自らの役割及び他職種との役割を理解し、多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供する基礎的能力を養う。
- 7) 専門職業人として、最新知識・技術を自ら学び続け、看護の質の向上を図る基礎的能力を養う。

2. 卒業生像

- 1) 人間をかけがえのない存在として尊重し、自己決定を支援できる。
- 2) 生じている現象に深い関心を寄せ、根拠に基づく倫理的な思考を活用した看護を実践し自己の看護を省察できる。
- 3) その人の健康を支えるために必要な知識・技術を適応し、安全・安楽に個別に応じた看護が実践できる。
- 4) 保健・医療・福祉チームにおける看護及び多職種の役割を理解し協働できる。
- 5) 社会の動向に関心を持ち地域のニーズを捉える能力がある。
- 6) 看護感を探求し続け、医療専門職業人としての自覚と責任を持ち、自己研鑽に努める。